

地域づくりの カギも発見

報告します!

～強みを活かした多様なしかけ～

期日：平成30年8月7日（火） 会場：くまもと県民交流館 パレアホール

まちづくり、地域づくりをテーマとした講座を実施しました。
54人の方に参加いただき、まちづくりのカギをたくさん発見することができた一日でした。

講座内容

<講座1> 講義「これからの生涯学習のすすめ方～ひとづくり・地域づくりの視点～」

<講座2> 先進事例紹介

① 行政が仕掛けるひとづくり・地域づくり

「ライフキャリア教育、はじめます。～社会教育を核としたキャリア教育の姿～」

② 公民館が仕掛けるひとづくり・地域づくり

「集う・学ぶ・つなぐ・活かす～三加和公民館で再発見！地域の魅力～」

③ 地域住民が仕掛けるひとづくり・地域づくり

「過疎に負けるか！全員参加の『もりあげ隊』～接続可能で発展的な地域へ」

<講座3> 座談会「もっと知りたい！地域づくりのカギ」

<講座4> 講義 「ひとづくり・地域づくりの仕組みをつくるために」

受講後の満足度

とても満足+満足

98%



<講座1> 講義

「これからの生涯学習のすすめ方～ひとづくり・地域づくりの視点～」

新しい時代を切り拓いていくためには、社会全体の持続的な教育力の向上に貢献する「知の循環型社会」構築することが必要であることから、一人一人の学びから地域をどう活性化させるのか、ひとづくりからまちづくりへのシフトが大切であることを学びました。



講師

放送大学熊本学習センター
客員教授 古賀 倫嗣 氏

★本日の取組みのキーワード

・カギ ・強み ・しかけ

(受講生の感想)

- ・生涯学習から地域づくりへの基本的な考え方を学ぶことができた。
- ・理論的な部分も大事だと思うので、もう少し時間をとって伺いたいと思った。
- ・社会教育、生涯学習とひとづくり、まちづくりの関係や沿革がよくわかった。

<講座2> 先進事例紹介

コーディネーター：放送大学熊本学習センター 客員教授 古賀 倫嗣 氏

① 行政が仕掛けるひとづくり・地域づくり

「ライフキャリア教育、はじめます。～社会教育を核としたキャリア教育の姿～」

ワークキャリアを包含したライフキャリア教育。ロールモデルとの出会いと交流の場で本音の対話を行う交流の場である「カタリ場」。「ひと」をキーワードとしたひとづくり、地域づくりについて学びました。



講師

益田市教育委員会
ひとづくり推進監
大畑 伸幸 氏

(コーディネーターによるまとめ)

- ・カギ…ライフキャリア教育
- ・強み…大学がない強みから、地域の若者が積極的に地域住民と結びつくことができる。
- ・しかけ…魅力的な大人に出会えていないという課題から、「益田びと」との出会いをしかける。→「カタリ場」とおした「対話」

(受講生の感想)

- ・本気で地域づくりをするためには、ひとづくりから。大人が本気になれば、子供たちは応えてくれる。行政がビジョンを持って仕掛ける本音での対話の大切さを学ばせていただいた。
- ・まちづくりの思いが学校現場にしっかりと伝わっている実践は新鮮だった。
- ・人と人の対話の重要性を学んだ。そういった場を設ける仕掛けを自分の自治体に持ち帰り検討したい。

<講座2> 先進事例紹介

コーディネーター：放送大学熊本学習センター 客員教授 古賀 倫嗣 氏

② 公民館が仕掛けるひとづくり・地域づくり

「集う・学ぶ・つなぐ・活かす～三加和公民館で再発見！地域の魅力～」

お姑さん世代を対象として地域と密着したコスモス学級をはじめ、地域に伝わる手漉き和紙の伝統を受け継ぐ取組み等、身近にある施設、人材、文化を見つめ直し、地域資源に活かすことの大切さを学びました。



講師

和水町中央公民館
(元 三加和公民館)
社会教育主事
西川 佳孝 氏

(コーディネーターによるまとめ)

- ・カギ…地域資源を活用すること。(ひと、和紙、歴史)
- ・強み…おばあちゃん世代の活用、高齢者の方の健康づくり。
産業遺物を使った教育。
- ・しかけ…コスモス学級の活動が地域貢献につながっている。

(参加者の感想)

- ・地域の歴史を掘り起こし、それを地域の活性化へとつなげていく。まずは、自分たちの地域を知ることから始めるということを学んだ。
- ・地域住民と学校の教育活動が深くつながって誇りを生み出していることがとても素晴らしいと思った。
- ・本市にも高齢者大学があり、参考になる点が多々あった。情報交換できたらいいと思う。持ち帰り検討したい。

<講座2> 先進事例紹介

コーディネーター：放送大学熊本学習センター 客員教授 古賀 倫嗣 氏

③ 地域住民が仕掛けるひとづくり・地域づくり

「過疎に負けるか！全員参加の『もりあげ隊』～接続可能で発展的な地域へ」

持続可能で発展的なふるさとづくりをめざして結成された「遊子川地域活性化プロジェクトチーム『遊子川もりあげ隊』」の取組みをとおして、自分たちでどのように継続するのかを考えていくことの大切さを学びました。



講師

西予市遊子川公民館
主事

久保田 学 氏

(コーディネーターによるまとめ)

- ・カギ…6次産業化(トマト)を意識した販路拡大。
- ・強み…自分たちで地域課題の自覚をしている。
- ・しかけ…トマトが生み出すストーリーがある。
地域の魅力を発信するために映画「食堂 ゆすかわ」を制作。
地域が生き延びるための知恵。

(参加者の感想)

- ・限界集落を見つめるところからの出発。さらに夢に向かった取組みがすばらしかった。
- ・地域住民が自分たちの手で地域づくりを行っていくことに感動した。現状を認めるところから始まることを学ぶことができた。
- ・6次産業化の取組みを公民館の方から聞くことができるとは思いもしなかった。前向きな地域の方に行政が寄り添っていて素晴らしいと思った。

<講座3> 座談会

コーディネーター：放送大学熊本学習センター 客員教授 古賀 倫嗣 氏

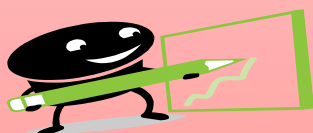
「もっと知りたい！地域づくりのカギ」

講座2の先進事例報告者を囲んで、ブースごとに座談会を行いました。疑問点等を尋ねたり、情報交換を行ったりしました。



《座談会の視点》

- 地域資源・人材の活用
- 関係機関や地域住民等との連携
- 役員や財源などの運営面



(参加者の感想)

- 座談会形式で話しやすかった。近いところで実践の工夫などを聞くことができてよかった。
- 事例紹介だけでは詳しくわからなかった部分も踏み込んで聞くことができてよかった。
- 直接質問もでき、ディスカッションを行うことができたので参加型でよかった。
- 講演に加えて、詳細な話を聞くことができてよかった。

<講座4> 講義

「ひとづくり・地域づくりの仕組みをつくるために」

地方創世と生涯学習の新しい役割、生涯学習の課題等について学び、これから新しい時代に向けて、どのようなことを準備していかなければならないのか、また、子供も大人も学び合う教育体制の構築が必要であることを学びました。

先進事例の取組みについて、「地域資源・人材の活用」、「関係機関や地域住民等との連携」、「役割や財源などの運営面」の視点からまとめをいただきました。



講師

放送大学熊本学習センター
客員教授 古賀 倫嗣 氏

(参加者の感想)

- これからの地域づくりについて3つの実践をすっきりとまとめていただき、整理することができた。
- 古賀先生のまとめがあり、理解することができた。思いを共有するひとづくりをがんばっていきたい。
- 3本の報告を3つの視点でまとめていただきわかりやすかった。
- 地域づくりのポイントがわかった。